

空き部屋仲介の米Airbnb

国内物件数4万件に 20年までに5倍

個人の空き部屋をインターネットで仲介する米Airbnb（エアビーアンドビー）は7日、今後5年で日本国内の物件

数を現在の5倍にあたる4万件に増やす方針を明らかにした。2020年の東京五輪を控えて日本を訪れる外国人が急増するなか、日本を成長市場と位置付けて、顧客の取り込みをはかる。

ネイサン・ブレチャー、ジク共同創業者が同日、「日本は部屋を提供するホストの質も高く、世界でも有望な市場だ」と述べた。日本での今年の利用者数は昨年の3倍超の100万人となる見通し。日本で認知度を高めホスト数を増やす。